

2026年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：金融経済学特論		専修：経済専修
担当教員名：山本 俊		科目区分：基幹科目
<p>授業科目概要：</p> <p>本科目の目的は大きく2つある。</p> <p>第1は金融に関する重要概念や分析ツールの理解を深め、金融経済分析の基盤を形成することである。</p> <p>第2はミクロ経済学をもとにした金融制度や金融機関の分析と、マクロ経済学をもとにした金融に関する諸政策の分析を通じて、金融経済分析に親しむことである。</p>		
<p>履修上の留意事項：</p> <p>あらかじめミクロ経済学特論やマクロ経済学特論の単位を取得していると授業内容を理解しやすいと考えられる。これら科目の単位を取得していない場合には、各科目のシラバスで指定されている教科書などを使って自習しておくことを望む。また、受講者は授業内での発表や報告を適宜求められる可能性がある。</p>		
教科書・参考書（参考文献）		
<p>書名（参考書1）：金融論 市場と経済政策の有効性【新版】</p> <p>著者／編者：福田慎一 著</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2024年</p> <p>金融の役割をミクロ経済学、マクロ経済学の視点から丁寧に解説している。また、現実の経済政策を取り上げ、学部向けマクロ経済学の教科書で学ぶツールを基に丁寧に分析している。</p>	<p>書名（参考書2）：金融 [新版]</p> <p>著者／編者：内田浩史 著</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2024年</p> <p>金融機関や金融制度が金融取引の阻害要因をどのように抑制しているのかをミクロ経済学の視点から丁寧に解説している。また、現実の数値例を多用しており、金融感覚を研ぎ澄ますのにも適している。</p>	
<p>書名（参考書3）：現代金融論入門</p> <p>著者／編者：工藤和久</p> <p>出版社：現代図書</p> <p>出版年：2010年</p> <p>銀行行動や金融制度の意義を、情報の経済学を応用し、数値例を多用して丁寧に解説している。</p>	<p>書名</p> <p>著者／編者：</p> <p>出版社：</p> <p>出版年：</p>	
ディプロマ・ポリシー（DP）との関係		
DP1	DP2	DP3
○		
<p>到達目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> 金融に関する重要概念を説明でき、分析ツールを利用できること。 ミクロ経済学やマクロ経済学による分析を通じて、金融の役割を説明できること。 		
<p>評価方法及び評価基準：以下の2つを総合して評価する。</p> <p>(1) 授業内で実施するクイズまたミニレポート：40%</p> <p>(2) 期末試験または期末レポート：60%</p> <p>その上で、60%をF、60~69%をC、70~79%をB、80%以上をAとして評価する。</p>		
<p>授業の方法：</p> <p>原則として、講義形式で授業を進める。ただし、適宜、受講生からの報告や発表を求める。</p>		

第1回	<p>テーマ：貯蓄と危険回避的行動（1）</p> <p>内容：異時点間消費の最適化モデルを通じて金融の意義を分析します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第2章、参考書2第2章</p>
第2回	<p>テーマ：貯蓄と危険回避的行動（2）</p> <p>内容：期待効用仮説に基づく不確実性の分析方法を学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第2章、参考書2第3、5、6章</p>
第3回	<p>テーマ：金融の役割</p> <p>内容：金融機関の役割について受講者から報告を求めます。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第1章</p>
第4回	<p>テーマ：最適な資産選択の考え方（1）</p> <p>内容：2パラメータアプローチについて学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第3章、参考書2第7章</p>
第5回	<p>テーマ：最適な資産選択の考え方（2）</p> <p>内容：分離定理について学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第3章、参考書2第7章</p>
第6回	<p>テーマ：最適な資産選択の考え方（3）</p> <p>内容：CAPMとポートフォリオの評価尺度について学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第3章、参考書2第7、9章</p>
第7回	<p>テーマ：資産価格と資産選択（1）</p> <p>内容：金利の期間構造理論を学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第4章、参考書2第9章</p>
第8回	<p>テーマ：資産価格と資産選択（2）</p> <p>内容：配当割引モデルによる株価決定理論を学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第4章、参考書2第9章</p>
第9回	<p>テーマ：資金貸借市場の分析（1）</p> <p>内容：資金貸借市場における理想と現実を分析します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第5章、</p>
第10回	<p>テーマ：資金貸借市場の分析（2）</p> <p>内容：資金貸借市場における情報の非対称性の影響を分析します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第5章、参考書3第9、10章</p>
第11回	<p>テーマ：短期金融市場と貨幣の理論</p> <p>内容：短期金融市場と貨幣の理論について受講者から報告を求めます。</p> <p>教科書／参考書：参考書1の第9章、第10章</p>
第12回	<p>テーマ：日本銀行と金融政策</p> <p>内容：日本銀行の役割の金融政策の枠組みについて学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第11章、参考書2第12章</p>
第13回	<p>テーマ：伝統的経済政策とその有効性（1）</p> <p>内容：伝統的経済政策を分析可能な経済モデルを構築します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第12章、参考書2第12章</p>
第14回	<p>テーマ：伝統的経済政策とその有効性（2）</p> <p>内容：伝統的経済政策を分析可能な経済モデルに基づき経済分析をします。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第12章、参考書2第12章</p>
第15回	<p>テーマ：非伝統的な金融政策</p> <p>内容：ゼロ金利制約下での非伝統的な金融政策について学修します。</p> <p>教科書／参考書：参考書1第15章、参考書2第12章</p>

※受講者の関心に応じてファイナンス特論で詳しく学び得る第4～6回の内容をスキップし、第13回目以降の学修内容を深めるという選択もあり得る。受講者と相談したい。